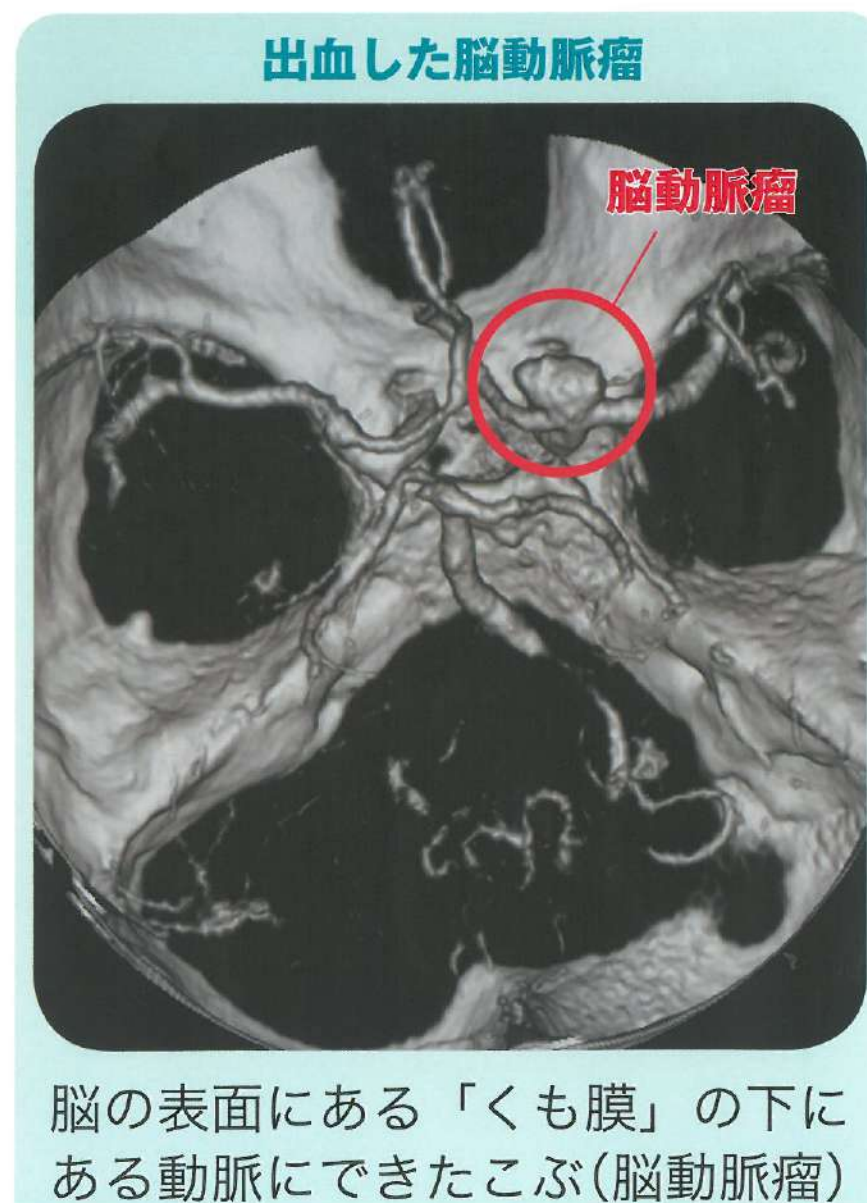
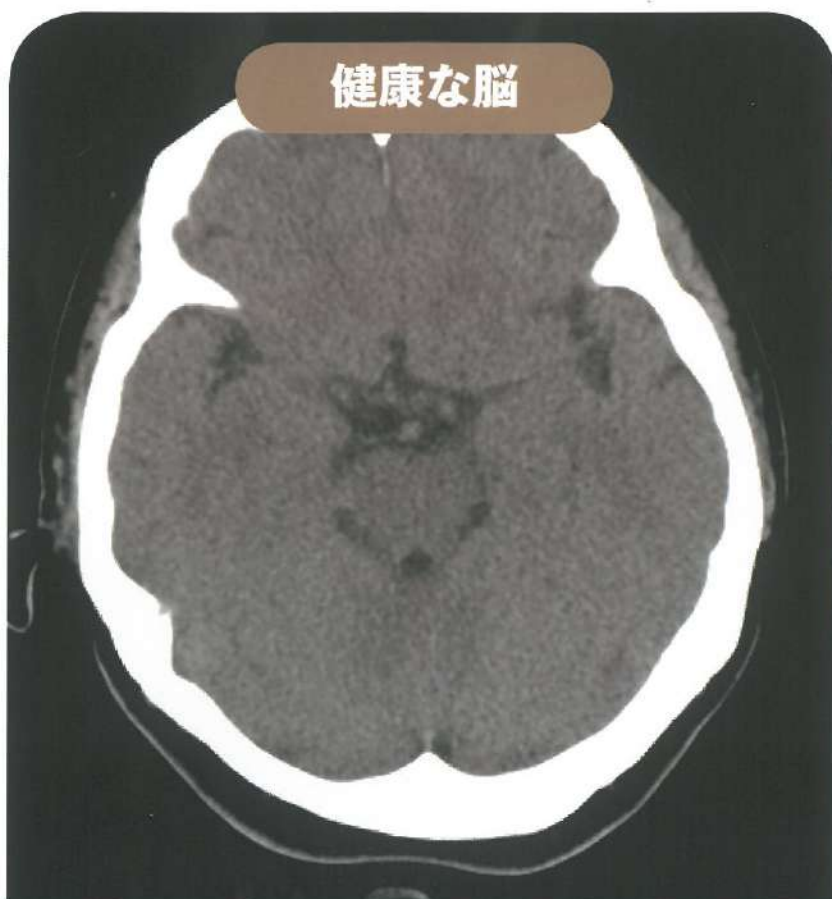




監修・写真提供/くどうちあき
脳神経外科クリニック
院長 医学博士 工藤千秋先生

くも膜下出血

くも膜下出血は、脳出血のひとつです。処置が遅れると死亡したり、一命をとりとめても後遺症が残ることもある危険な病気です。



大出血の可能性大!

突然の、今まで経験したことのないような（ハンマーで殴られたような）頭痛

嘔吐を伴う激しい頭痛

意識を失ったり、いびきをかきながら眠って見えることもある

一刻も早く救急車を!

前兆はあるの?

鎮痛剤を服用しても効かない頭痛

めまいや吐き気を伴う頭痛

血圧が乱高下を繰り返す

目の異常(痛み、ものが二重に見える、まぶたが下がるなど)

**早めに
脳神経外科の受診を!!**

予防法は?

- 血圧をコントロールする。乱れがある場合は、受診する
- 動脈硬化の症状がある人は治療を
- 塩分やアルコールを控え、野菜中心の食生活にする
- 禁煙を心がける

**血圧と動脈硬化の
治療が重要!**



近親者に脳卒中経験者がいる場合は、脳ドッグを

近親者に脳卒中（くも膜下出血、脳出血）の経験者がいる場合は発症のリスクが高くなり、たとえば両親の場合だと2～3割高いといわれています。該当する人は、35歳以上で3年に1度、60歳以上になったら年に1度、脳ドッグを受け、自分の脳の状態をチェックしておきましょう。